

日本原子力学会 核燃料部会
令和4年度第四回運営小委員会議事録

日時：令和5年2月27日（月）13:30～15:15 於 WEB 会議(Webex)

出席者：加藤部会長，佐藤副部会長，尾形副部会長，阿部委員，宇田川委員，内川委員，小原委員，片山委員，川西委員，川本委員，樽松委員，黒崎委員，澤委員，園田委員，高田委員，鶴田委員，長嶺委員，橋爪委員，樋口委員，松永委員，渡部委員，大谷（記）

議事

1. 前回議事録等の確認（資料1）

大谷から、前回（令和4年度第三回）運営小委員会議事録を報告した。

2. 令和5年度核燃料部会業務分担について（資料2-1～2-3）

大谷から、令和5年度核燃料部会業務分担について説明し、承認された。加藤部会長より、2023・2024年度の代議員候補として、佐藤副部会長、尾形副部会長を推薦した旨報告された。加藤部会長より、佐藤部会長（新任）、尾形副部会長（再任）、逢坂副部会長（新任）の推薦があり、3/14全体会議に諮ることで承認された。

3. 令和4年度収支実績と令和5年度予算について（資料3）

大谷から、令和4年度の収支実績（1月末時点）および令和5年度予算案（11月事務局提出済み）について報告した。

4. 核燃料部会奨励賞の選考について（資料4）

川西委員から、第11回（2022年度）核燃料部会奨励賞の部会賞選考小委員会での選考結果について報告され、東大 Li Bo 氏の受賞について承認された。

3/14全体会議にて、部会奨励賞と学会講演賞（2022秋の大会）の授賞式を行う。

現在、2023春の年会の学会講演賞のエントリーが4名であり、学生への推薦について依頼された。

5. 企画小委員会の概要について（資料5）

佐藤副部会長から、2月22日に開催された企画小委員会について、2023年春の年会企画セッション、2023年度夏期セミナーの議論他について説明された。

6. 2023年春の年会での企画セッションについて（資料6）

佐藤副部会長から、核燃料部会・計算機科学技術部会の合同セッション「核燃料開発におけるシミュレーション技術の活用【討論編】」について、前回（2022年春の年会）のセッション内容のレビュー講演の後、討論を中心に実施する旨

説明された。討論への積極的な参加頂きたいとのこと。

各委員より、照射に伴う材料特性の変化に関して、解析コードの V&V、照射挙動と分子動力学の討論があるので、マクロとミクロのリンクなども論点との意見があった。

7. 夏期セミナーについて（資料 7）

片山委員から、2023 年度夏期セミナーについての検討状況が報告された。現地開催（8/28 週有力：水戸周辺）として、核燃料基礎講座、施設見学（JAEA 施設：常陽、HTTR）を実施する方向で調整中である旨報告された。

HTTR は運転中であり、国際プロジェクトも進行中であるので、見学の調整が困難と想定され、不調の場合、FMF 等も検討していくこととした。また、従前、現地開催の場合、夏期セミナーに合わせ運営小委を開催していることから、その方向で調整していくこととした。

8. 核燃料部会報について（資料 8）

内川委員から、核燃料部会報 No.58-1 が 2022 年 12 月発行済みであること、No.58-2（2023 年 5 月末～6 月上旬頃発行予定）の進捗について紹介され、引き続き原稿作成に協力していくこととした。

9. 核燃料部会全体会議の準備について（資料 9）

大谷から、3/14 春の年会での全体会議資料案について報告した。尾形副部長より、今後の活動予定に記載の国際会議について、通常、TopFuel 等、共催しているものを記載しているとの話があり、TopFuel2023 の学会の共催について事務局に確認した上で記載を見直すこととした。

10. 原子力学会英文誌 JNST について（資料 10）

加藤部会長から、JNST のインパクトファクターが低下しており、JNST の最近の論文リストを核燃料部会員に情報メールで共有したい旨説明があり、了承された。庶務幹事にて、配信手続きを進めることとした。

その他

大谷より、核燃料部会員情報メールのプロバイダ（さくらメール）について、2023 年度も継続契約する旨説明し、承認された。学会事務局に連絡する。

加藤部会長より、ご挨拶を頂いた。

次回の運営小委員会は、令和 5 年 5 月 18 日（木）13 時 30 分から、開催することとした。

以上